

## 企画展「救い出された資料たち」出品目録

〔会期：令和7年(2025)11月22日(土)～令和8年1月12日(月・祝)〕

令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」では、当館が立地する富山県西部の高岡市をはじめ、県内6市1村で震度5強を観測しました。このたびの地震の影響により、多くの家屋や蔵などが被害を受け、一時的な資料避難「被災資料（文化財）レスキュー」が話題となりました。

こうした状況の中、当館でも発災直後の令和6年1月5日から同7年9月末まで計17件（資料点数は1万数千点余）の被災資料レスキューに対応してきました。これらレスキュー活動や博物館の使命の一つである「資料収集・保存活動」により当館へ寄せられた資料は、高岡の歴史文化を物語る貴重な「お宝」です。

本展では令和6年能登半島地震以来、当館で行ってきた被災資料レスキューにおける取り組みの成果の一部を展示・紹介します。

最後に、本展開催にあたり貴重な資料をご寄贈いただきました皆様、関係各位に厚く感謝申し上げます。

No.	資料名称	年代	点数	備考	所蔵先（寄贈者）
1	「令和6年能登半島地震」北日本新聞号外（複写）	令和6年(2024)1月1日付	1	令和6年の元日に起きた能登半島地震について伝える新聞の号外。地震の規模や各地での被害の大きさについて伝える	北日本新聞社
2	高岡市伏木地区旧家資料	近世～現代	100	高岡市伏木地区の旧家から寄贈された古文書・帳簿類、掛軸、屏風、扁額など。伏木は江戸中期から大正期にかけて北前船の寄港地として栄えた地域であり、今回寄贈された資料の中には北前船主（問屋）や船頭が各地の問屋との売買が成立した際に作成される文書「仕切書」多数のほか、明治から昭和期頃の商売取引の様子を記した帳簿類、香典帳などもみられる	当館（個人）
3	勝興寺19世法薫筆《絹本墨書き持鈔抜書》	文化10年(1813)9月	1	高岡市伏木地区旧家資料のうち。勝興寺19世法薫(1758～1831／在位1770～1831)筆。本願寺3世覚如が1326年に書いた『執持鈔』(全5条)のうち、法薫が5条の一部を抜き書きしたもので、阿弥陀如来の本願、称名、往生など浄土真宗の要諦がまとめられている。箱書きにより本史料は古国府（勝興寺）14世の清淨院殿（法薫の院号は攝受院なので誤りか）より、伏木の廻船問屋3代目煙草屋吉左衛門（粟田氏）が頂戴（拝領）し、不遠寺恵応が取次をしたことがわかる。法薫は現存する勝興寺本堂（国宝）の再建に尽力した人物である	当館（個人）
4	佐竹龍水 書扁額《千慮無惑》	明治末～昭和初期	1	高岡市伏木地区旧家資料のうち。高岡市太田の國泰寺第57世・佐竹龍水(1857～1934)の書扁額。引首印（朱文長方印）「雪上加霜」、落款「國泰龍水叟書」、朱文印「号龍水」、白文方印「曠然自適」。龍水は現三重県出身で、明治42年(1909)國泰寺管長に就任した。禪会を通しての布教活動だけではなく、漢方にも通じ、施薬・点灸をもって大衆の教導にあたった	当館（個人）
5	堀川敬周筆《紙本墨画淡彩山水図屏風》	江戸後期	1	高岡市伏木地区旧家資料のうち。高岡初の町絵師・堀川敬周(1789頃～1858)筆の六曲一隻屏風。屏風全体に山々や樹木、海（もしくは湖）などが描かれ、山間や水辺で暮らす人々の様子を描く。堀川敬周は高岡掘上町出身の町絵師。絵師として山水・花鳥・人物などあらゆる画題を習得する一方、漢詩人・大窪詩仏や金沢の俳人・桜井梅室ら多くの文人墨客らとも親交を持ち、洒脱な俳画や風俗画も描いた	当館（個人）
6	「日本郵船会社等・諸般回漕問屋 伏木港本町・粟田吉左衛門」（複写）	明治21年(1888)	1	『中越商工便覽』（初版）に掲載の伏木港本町・粟田吉左衛門商店	当館
7	勝興寺触頭文書等古文書	江戸後～明治初期	90	高岡市伏木錦町の大指家から寄贈された古文書（約360点）のうち。これらは元々襍4枚の下張りに使われていた古文書で、内容としては浄土真宗関連の文書が多く、江戸期に加賀藩や本山からの通達を担う触頭だった伏木の勝興寺に関わるものをはじめ、「文政」・「天保」などの年号や伏木地区的寺院名などが書かれた文書もある。また「野村」・「中川」・「三女子」などの高岡の地名が記された寺子屋の教科書、明治期の肥料商が書いた鯉の商いを示す文書もみられる	当館（大指哲夫氏）
8	高岡市千石町・早瀬家資料	江戸後～昭和期	20	高岡市千石町で明治期創業の呉服屋を営んでいた早瀬家寄贈資料のうち。明治期以降の商売関係の帳簿類や横田町尋常小学校の賞状類や通信簿、天然痘の種痘済証、醤油や酒の購入通帳などの書類がある。このほか、百姓町二丁目のぼりや同町青年団旗、通い徳利（山徳商店・北喜）や大徳寺型けいす、手回しミシンなどの民俗資料、高岡ゆかりの画家・書家が描いた掛け軸などもある	当館（早瀬和美氏）
9	写真「高岡市千石町・早瀬家の建物被害、及び被災資料レスキューの様子」	令和7年(2025)9月3日撮影	2	地震で被害を受けた早瀬家家屋、及び当家の蔵で資料レスキューを行う当館職員	当館

No.	資料名称	年 代	点数	備 考	所蔵先（寄贈者）
10	彼谷芳水面《紙本淡彩瓢箪に雀図（団扇）》	昭和期	1	高岡市千石町の早瀬家資料のうち。高岡市出身の漆芸家・彼谷芳水(1899～1994)画。瓢箪をくり抜いて作った菓箱に入る雀の図を描く。これは芳水が庭にやって来る雀のために用意した「雀のお宿」を描いたものであろう。落款「芳水」（朱文方印「芳水」）	当館（早瀬和美氏）
11	須賀木仙画《紙本淡彩橋下奔湍図（団扇）》	昭和期	1	高岡市千石町の早瀬家資料のうち。高岡市出身の蝶型鑄造家・須賀木仙(1905～79)画。橋下に流れる水勢が激しく、当時眩暈を覚えるほど眺めであったことを、木仙が思い起こして描いたもの。墨書（自賛）「橋下奔湍水勢／激甚何ん立観望／生眩暈當時／想起描写事」。落款「木仙」（白文方印「木仙」）	当館（早瀬和美氏）
12	稻葉心田画《紙本墨画達磨図（扇面）》	昭和期	1	高岡市千石町の早瀬家資料のうち。高岡市太田の摩頂山國泰寺第62世・稻葉心田(1906～86)が描いた達磨図。引首印（白文長方印）「不二」、墨書「万古不倒」「心田道人」、朱文方印「心田」。心田は國泰寺の境内・伽藍などの改修整備に努めるとともに、各地で心田会・坐禅会などの法座を開くなど、広く伝道教化活動を行った	当館（早瀬和美氏）
13	百姓町二丁目幟		1	高岡市千石町の早瀬家資料のうち。青地に「百姓町二丁目」と白字で染め抜かれている。百姓町は寛文11年～昭和43年(1671～1968)までの高岡の町名で、現在の高岡市千石町・横田町3丁目の一部	当館（早瀬和美氏）
14	百姓町二丁目青年団旗		1	高岡市千石町の早瀬家資料のうち。青年団を表す「青」の字が入った桜のマークと「百姓((ママ))町二丁目」の文字が刺繡された旗。旗の周囲にはフリンジが付いている	当館（早瀬和美氏）
15	手回し式卓上ミシン		1	高岡市千石町の早瀬家資料のうち	当館（早瀬和美氏）
16	通い徳利（山徳商店・北喜）		2	高岡市千石町の早瀬家資料のうち。酒店や醤油店が小売り用容器として客に貸し出した徳利。「貸徳利」・「貧乏徳利」ともよばれる。客は店でこれに酒や醤油を入れてもらって持ち帰り、次回購入する際にその徳利を持って買いにいった	当館（早瀬和美氏）
17	大徳寺型けいす	昭和53年(1978)	1	高岡市千石町の早瀬家資料のうち。読経などで用いられる仏具。高岡市千石町にある有限会社シマタニ昇龍工房の作。けいすには「元祖／昇龍／手打」の銘があり、共箱蓋表には「仏事用／輪／島谷作」と墨書がある	当館（早瀬和美氏）
18	「越中国高岡閔野神社祭礼繁昌略図」（色刷）	明治16年(1883)4月13日	2	高岡御車山祭の様子を描いたもの（扁額。2枚一組）。御車山は前から通町、御馬出町、守山町、木舟町、小馬出町、一番街通、二番町の順に並ぶ。編者・室谷太郎吉、出版人・塙谷与右衛門。当館所蔵の「越中国高岡／閔野神社祭礼繁昌略図附録」と構図・年代・編者・出版人が同じであるが、本資料の方がより細かく描きこまれている	当館（太田幸子氏）
19	高岡市伏木肥料商・牧野貞次郎関係資料	明治～昭和期	45	高岡市伏木の肥料商・実業家で伏木町議や戦後初の高岡市議長も務めた牧野貞次郎関係資料（約350点）のうち。寄贈者曾祖父・貞次郎氏(1885～1965)が関わった肥料に関する売買営業免許証や輸入営業免許証などの書類のほか、土地や家屋の売買契約・登記書類や株券、古銭、法被、耕地整理組合関係書類などもある	当館（牧野明氏）
20	高岡市伏木廻漕業・一宮半助商店法被	幕末～明治期	2	幕末から明治期にかけて高岡市伏木港中道町で北海産物や米穀など幅広く取り扱っていた廻漕業・一宮半助商店の法被（計2種4着）のうち。展示した2点のうちの1点は夏用の麻製で、襟の左側に「一半」、右側に「伏木」とある。もう1点は冬用の綿製で、「廻漕」の文字が全体にデザインされ、襟の両側に「伏木一宮」とある。北前船交易で栄えた伏木の歴史を物語る貴重な資料である	当館（個人）
21	「船荷問屋・船舶廻漕業 伏木港中道町一宮半助」（複写）	明治21年(1888)	1	『中越商工便覽』（初版）に掲載の伏木港中道町・一宮半助商店	当館
22	高岡市伏木・西洋帆船太陽丸（船長・田子竹次郎）関係資料	明治期	17	明治期の西洋帆船太陽丸船長・田子竹次郎氏（高岡市伏木古国府）資料のうち。寄贈者祖父・竹次郎氏(1856～1930)は西洋帆船太陽丸の船長を務めるなど、伏木、新潟、函館とロシアを行き来して貿易した。寄贈資料には伏木港の西洋帆船の写真をはじめ、竹次郎氏の船歴がわかる船員手帳やペストなど感染症の流行地に寄港していない証明書、アザラシ皮や筋子、塩鮭などの取引書などのほかロシア語で書かれた書類もある。北前船の跡を継いだ西洋帆船の具体的な貿易の実態がわかる貴重な資料である	当館（田子竹雄氏）
23	写真「西洋帆船太陽丸船長・田子竹次郎氏」（複写）		1	高岡市伏木・西洋帆船太陽丸（船長・田子竹次郎）関係資料のうち。着物姿で写る田子竹次郎(1856～1930)氏	当館（田子竹雄氏）
24	写真「伏木港に停泊する西洋帆船」（複写）		1	高岡市伏木・西洋帆船太陽丸（船長・田子竹次郎）関係資料のうち	当館（田子竹雄氏）

No.	資料名称	年 代	点数	備 考	所蔵先（寄贈者）
25	高岡市伏木・棚田家資料	明治期以降	20	高岡市伏木錦町の国登録有形文化財「棚田家住宅」（平成9年登録）で保管されてきた古文書・帳簿類など（約1万点）のうち。明治期以降の取引記録や出納帳、家計簿、日誌などの帳簿類などのほか、実業家・政治家でもあった棚田竹次郎宛の感謝状や贈呈状、通知書などを折本状にまとめた折本（1900～41）もある。棚田家は藩政期から北前船交易など廻漕業に携わり、大正期には北海道・樺太方面に事業を拡大し、製材や石炭の売買や建築・土木業を幅広く手掛けた	当館（棚田梓氏）
26	築港祝賀会設備委員嘱託状（複写）	大正2年(1913)8月31日	1	棚田家資料「棚田竹次郎宛感謝状等折本」のうち。伏木築港祝賀会総務委員から棚田竹次郎宛。大正元年(1912)伏木築港工事は全工程が終了した。同2年8月30日伏木町会議員・区議員及び町内有志が集まり築港完成を祝うと同時に、伏木港を全国に紹介することを目的に「伏木築港竣成祝賀会」が組織された	当館（棚田梓氏）
27	射水郡伏木町窮民へ賑恤金寄付に付木杯下賜狀（複写）	大正7年(1918)11月30日	1	棚田家資料「棚田竹次郎宛感謝状等折本」のうち。富山県知事・井上孝哉から棚田竹次郎宛。伏木町の窮民救済のため、竹次郎氏が金10円余を寄付したことにより、木杯1個を下賜するというもの	当館（棚田梓氏）
28	伏木北海曹達徳及び伏木製紙株建築請負工事功勞に付賞与贈呈感謝状（複写）	大正9年(1920)4月9日	1	棚田家資料「棚田竹次郎宛感謝状等折本」のうち。佐藤組から棚田竹次郎宛。伏木北海曹達徳（北海曹達徳伏木工場カ）と伏木製紙株両社の建築請負工事に尽くした功績に際し、賞与金1万円を贈呈するというもの	当館（棚田梓氏）
29	伏木町会議員貢献に付銀盃贈呈状	大正12年(1923)10月31日	1	棚田家資料「棚田竹次郎宛感謝状等折本」のうち。伏木町長・佐々木平兵衛から伏木町会議員・棚田竹次郎宛。竹次郎氏の伏木町会議員としての貢献に際し、銀盃1個を贈呈するというもの	当館（棚田梓氏）
30	射水俱楽部評議員推薦状	大正13年(1924)3月25日	1	棚田家資料「棚田竹次郎宛感謝状等折本」のうち。射水俱楽部から棚田竹次郎宛	当館（棚田梓氏）
31	雲龍山勝興寺相談役依頼状	大正13年(1924)4月13日	1	棚田家資料「棚田竹次郎宛感謝状等折本」のうち。雲龍山勝興寺住職・土山瑞映から棚田竹次郎宛。土山瑞映(1895～1963)は勝興寺25世住職	当館（棚田梓氏）
32	日本赤十字社特別社員締盟状	大正13年(1924)11月5日	1	棚田家資料「棚田竹次郎宛感謝状等折本」のうち。日本赤十字社総裁・載仁親王、同社社長・平山成信から棚田竹次郎宛。竹次郎氏を日本赤十字社の特別社員に加えることを表すもの。	当館（棚田梓氏）
33	伏木町会議員当選告知書	大正14年(1925)4月11日	1	棚田家資料「棚田竹次郎宛感謝状等折本」のうち。射水郡伏木町長・佐々木平兵衛から棚田竹次郎宛。竹次郎氏は伏木町会議員を、大正10年(1921)4月から同14年4月まで務めていたという	当館（棚田梓氏）
34	伏木町土木委員当選通知書	大正14年(1925)4月25日	1	棚田家資料「棚田竹次郎宛感謝状等折本」のうち。射水郡伏木町長・佐々木平兵衛から棚田竹次郎宛	当館（棚田梓氏）
35	伏木町公会堂建築工事功勞に付銀盃贈呈状	大正15年(1926)5月8日	1	棚田家資料「棚田竹次郎宛感謝状等折本」のうち。伏木町長・佐々木平兵衛から棚田竹次郎宛。竹次郎氏の伏木町公会堂建設工事の功勞に際し、銀杯一对を贈呈するもの。伏木町公会堂の現存期間は、明治42～昭和39年(1909～64)以前といわれる。公会堂の再建工事は佐藤組が請負い、大正14年9月12日に地鎮祭、翌15年5月8日に公会堂の落成竣工式が行われている	当館（棚田梓氏）
36	伏木町長交際費の方へ指定寄附に付感謝通知書	大正15年(1926)11月	1	棚田家資料「棚田竹次郎宛感謝状等折本」のうち。射水郡伏木町長・佐々木平兵衛から棚田竹次郎宛。伏木町長交際費として、金48円72銭が竹次郎氏から寄せられた	当館（棚田梓氏）
37	伏木商業学校建築勤労に付銀盃贈呈状（複写）	昭和3年(1928)11月30日	1	棚田家資料「棚田竹次郎宛感謝状等折本」のうち。伏木町長・矢郷清太郎から土木委員・棚田竹次郎宛。竹次郎氏が伏木商業学校（現県立伏木高等学校）の建築に際し、監督として従事した功績を認め、銀盃一組を贈呈するというもの	当館（棚田梓氏）
38	伏木小学校奉安殿御造営協賛会顧問推薦書（複写）	昭和15年(1940)12月13日	1	棚田家資料「棚田竹次郎宛感謝状等折本」のうち。伏木小学校奉安殿御造営協賛会長・秋元伊平から棚田竹次郎宛。竹次郎氏は伏木小学校の奉安殿御造営協賛会の顧問に推薦するという。奉安殿とは昭和戦前に御真影（天皇・皇后両陛下の写真）や教育勅語を納めた場所のこと。同校（当時は伏木国民学校）の奉安殿落成式及び祝宴は昭和17年(1942)11月21日に行われた	当館（棚田梓氏）
39	高岡市伏木錦町・熊谷（大黒）写真館撮影収集写真	明治～平成期		高岡市伏木錦町の熊谷写真館（大正末期創業）で明治から平成期にかけて撮影収集された伏木地区の写真（約1,600点）のうち。寄贈された写真には、明治27年(1894)以降の伏木尋常高等小学校（現伏木小）、伏木商業学校（現伏木高）の卒業写真のほか、昭和初期の伏木の町並みや伏木曳山祭、戦時中に伏木で機雷解体作業中に起きた爆発事故現場写真や終戦直後に写真館上空を飛ぶB29爆撃機などを捉えた写真もある	当館（大黒幸雄氏）
40	『卒業生写真帖其一』	明治27～大正12年(1894～1923)	2	熊谷（大黒）写真館撮影収集写真のうち。「大正五年三月高卒」、「大正五年三月尋卒」	当館（大黒幸雄氏）

No.	資料名称	年 代	点数	備 考	所蔵先（寄贈者）
41	写真「伏木小学校全員記念写真」	昭和初年頃	1	熊谷(大黒)写真館撮影収集写真のうち。昭和初年頃、伏木小学校の校舎を背景に全校生徒を写した記念写真	当館（大黒幸雄氏）
42	写真「射水丸伏木港初出航」（複写）	昭和15～同16年 (1940～41)頃	1	熊谷(大黒)写真館撮影収集写真のうち。射水丸は昭和15年(1940)4月26日に北日本汽船の射水丸が浦賀船渠で竣工。古城公園内にある射水神社の社名にちなみ「射水丸」と命名された。同年12月3日に海軍徵備船、翌16年1月15日に連合艦隊付となり、佐世保を母港として中国華中方面に出動し、軍用物資の輸送や特兵軍属の移送任務に従事した。同19年6月12日、マリアナ諸島のアラマガシ島西付近で米軍艦載機の反復空襲を受け沈没した	当館（大黒幸雄氏）
43	写真「東亜合成高岡工場内空襲予想訓練」（複写）	昭和16～同17年 (1941～42)頃	1	熊谷(大黒)写真館撮影収集写真のうち。東亜合成高岡工場内で行われた空襲予想訓練の様子を写した写真。空襲に備えた当時の緊迫した雰囲気が伝わる。東亜合成高岡工場は大正7年(1918)に設立された北海曹達(株)伏木工場で苛性ソーダをはじめとした電解製品の生産を開始。昭和19年(1944)、東亜合成化学工業(株)高岡工場（現高岡工場）に改称された	当館（大黒幸雄氏）
44	写真「伏木国分速水鉄工所 機雷解体中の爆発事故現場」	昭和20年(1945)6月5日	1	熊谷(大黒)写真館撮影収集写真のうち。昭和戦中、高岡市伏木本分にあった軍需工場・速水鉄工所（現・速水発条㈱）で機雷解体作業中に発生した爆発事故現場写真。伏木港や新湊に投下された機雷から火薬を回収するために鉄工所に持ち込まれた機雷が爆発し、13人が死亡する大事故になった	当館（大黒幸雄氏）
45	写真「グラマンF4F ウイルドキャット（伏木・大黒家より撮影）」	昭和20年(1945)9月6日	1	熊谷(大黒)写真館撮影収集写真のうち。伏木・熊谷写真館上空を飛ぶアメリカ戦闘機「グラマンF4Fワイルドキャット」を捉えたもの。終戦わずか3週間後の伏木上空を飛ぶ貴重な写真である。本機の初飛行は昭和12年(1937)。F4F-4型の最高速度は時速515キロメートルともいわれる。第2次世界大戦中にはイギリス軍に多く供与されたという	当館（大黒幸雄氏）
46	写真「B29爆撃機（伏木・大黒家より撮影）」（複写）	昭和20年(1945)9月7日	1	熊谷(大黒)写真館撮影収集写真のうち。終戦直後に伏木上空を飛ぶB29爆撃機をとらえた写真。伏木・大黒家より撮影	当館（大黒幸雄氏）
47	絵葉書「伏木八景」用撮影写真、富山国体夏季大会スナップ写真	昭和20～同33年 (1945～58)	12	熊谷(大黒)写真館撮影収集写真のうち。昭和20～同28年(1945～58)頃に、絵葉書「伏木八景」用に撮影された勝興寺や雨晴海岸、伏木曳山祭などの写真及び、同33年開催の富山国体夏季大会でのスナップ写真など	当館（大黒幸雄氏）
48	写真「伏木・十間道路 桜まつり」（複写）	昭和27～同29年 (1952～53)頃	1	熊谷(大黒)写真館撮影収集写真のうち。桜まつりで満開の桜の下、人々が楽しそうに行き交う様子を写した写真。「十間道路」は昭和4年(1929)、耕地整理によって開かれた伏木の矢田(やた)と国分を結ぶ幅10間（約18m）の道路（国道415号）の通称で、桜の名所である	当館（大黒幸雄氏）
49	写真「伏木曳山祭」（複写）	平成3年(1991)5月15日	1	熊谷(大黒)写真館撮影収集写真のうち。人々が山車の周りを行き交い、祭りの賑やかな様子がうかがえる写真。夜は提灯に明かりが灯り、山車をぶつけ合う「かっちゃん」が行われる	当館（大黒幸雄氏）
50	高岡市伏木地区旧家資料		11	高岡市伏木地区の旧家から寄贈された古文書、帳簿類、掛軸、扁額など。寄贈資料には、越中商船関係資料のほか、大正3年(1914)に発生した汽船・共益丸と第三能登丸の接触事故に関する裁判書類など多数ある	当館（個人）
51	写真「能登半島地震で被災した伏木地区旧家の蔵」	令和7年(2025)9月17日撮影	1	地震で被災した伏木地区旧家の蔵	当館
52	高岡市早川・山本家資料	明治～昭和期	10	高岡市早川の山本家より寄贈された明治から昭和期にかけての資料（約30点）のうち。寄贈者祖父・山本亀次郎氏(明治6年生)の軍隊手帳や軍歴、各種勲章、西条村出征軍人名簿(1905年)、西条村在郷軍人団役員名簿(1910年)のほか、横田地区農地委員会から農地改革記念に贈られた高岡銅器と思われる火鉢、早川青年会から贈られた陸軍歩兵上等兵・山本武一氏（寄贈者叔父）歓迎幟(1938年)などもある	当館（山本光雄氏）
53	陸軍歩兵上等兵・山本武一氏歓迎幟	〔昭和13年 (1938)カ〕	1	高岡市早川・山本家資料のうち。寄贈者の叔父で陸軍歩兵上等兵・山本武一氏の歓迎幟。武一氏の地元・早川青年会から贈られたもの。幟が長いからか、半分に切って横に縫い付けられている	当館（山本光雄氏）
54	高岡市伏木・蜂谷家資料	江戸～昭和期	27	高岡市伏木中道町（現伏木中央町）で廻船問屋を経営していた蜂谷家（屋号は蜂屋）資料（計25件45点）のうち。寄贈資料には大正期に中越運輸株（現伏木海陸運送株の前身）手代なども務めた蜂谷徳次郎氏（1879年生）の軍隊手帳や陸軍輜重輸卒組長適任証書(1900年)、蜂谷孝吉氏出征幟（昭和期カ）などの戦時下資料、書扁額などがある	当館（蜂谷春雄氏）

No.	資料名称	年 代	点数	備 考	所蔵先（寄贈者）
55	山岡鉄舟筆 書扁額《情高意真》	江戸～明治期	1	高岡市伏木中道町（現伏木中央町）の蜂谷家資料のうち。幕末“三舟”的一人で、剣・禅・書に優れた山岡鉄舟(1836～88)の書扁額。明治11年(1878)秋、鉄舟は明治天皇巡幸に従って来高し、高岡市太田の國泰寺第54世・越叟(1837～74)と意気投合した。鉄舟は明治維新以後、廃仏毀釈等の余波を受け荒廃した同寺の窮状を救うため、大量の書画等を揮毫し、北陸の有志に勧進を呼びかけた	当館（蜂谷春雄氏）
56	越叟義格筆 書扁額《慎肅》	江戸～明治期	1	高岡市伏木中道町（現伏木中央町）の蜂谷家資料のうち。國泰寺第54世・越叟義格(1837～84)の書扁額。國泰越叟、閔防印（朱文円印）「水月道場」。朱文方印「越叟」、白文方印「義格之印」。越叟は明治7年(1874)に國泰寺住職となり、山岡鉄舟の援助で國泰寺天皇殿の再建や諸堂改築に尽力した。同16年には、鉄舟が東京谷中に建立した全生庵の住職として招かれた	当館（蜂谷春雄氏）
57	土山沢映筆 書扁額《雲披月満》	江戸～明治期	1	高岡市伏木中道町（現伏木中央町）の蜂谷家資料のうち。伏木の勝興寺23世（18世とも）・土山沢映(1845～1905)の書扁額。沢映は和歌や書にも秀でた。「雲披月満」は中国北宋時代の書道家・文学者でもある米芾(1051～1107)の詩の一節。閔防印（朱文方印）「清天美」。白文方印「雲莊」、白文方印「沢映」	当館（蜂谷春雄氏）
58	蜂谷孝吉氏出征幟		1	高岡市伏木中道町（現伏木中央町）の蜂谷家資料のうち。蜂谷孝吉氏の出征に際し、株式会社伏木魚菜市場から贈られた幟。上部に日の丸、その下に墨書「歓送／祝 出征軍人 蜂谷孝吉君／株式会社 伏木魚菜市場」	当館（蜂谷春雄氏）
59	高岡市五福町・栗山家資料	昭和期		高岡市新横町（のち五福町へ転居）の栗山家資料（計36点）のうち。寄贈者祖父・元治氏が製麵業を始めた。戦時には14～5軒の製麵所が集まって「高岡合同製麵所」をつくり、栗山製麵所で営業を行っていた。寄贈資料には「高岡合同製麵所 検査合格証」（1941～45年）や、豆菓子の包装紙（「栗山五色豆」・「フライビンズ豆菓子」／1929～41年）のほか、支那事変（日中戦争）記念に贈られた鋳銅兜文花瓶（1939年）などもある	当館（栗山輝雄氏）
60	写真「能登半島地震で被災した高岡市五福町・栗山家」	令和6年(2024)1月17日撮影	1	地震で被災した栗山家家屋	当館
61	包装紙「栗山五色豆」・「フライビンズ豆菓子」	昭和4～同16年(1929～41)	2	高岡市五福町・栗山家資料のうち。栗山製麵で作っていた豆菓子の包装紙	当館（栗山輝雄氏）
62	鋳銅兜文花瓶	昭和14年(1939)	1	高岡市五福町・栗山家資料のうち。胴部に兜と矢が2本、そして桜の花が描かれた高岡銅器製と思われる花瓶。支那事変（日中戦争）記念に贈られたもの	当館（栗山輝雄氏）
63	高岡合同製麵所 検査合格証	昭和16～同20年(1941～45)	1	高岡市五福町・栗山家資料のうち。「製麵／乾麵／富山県製麵工業組合／高岡合同製麵所」、「検査合格之証」	当館（栗山輝雄氏）
64	内免神明社本殿造営記念盃		1	高岡市五福町・栗山家資料のうち。盃の胴部に朱で「内免神明社 本殿造営記念」、高台内に朱で「九谷」とある。盃の見込み部分には、金で右三つ巴紋が描かれる	当館（栗山輝雄氏）
65	高岡市立成美小学校 体育館落成記念盆	昭和55年(1980)6月吉日	1	高岡市五福町・栗山家資料のうち。高岡市立成美小学校の体育館落成記念盆。本校は明治16年(1883)1月、現・木町神社境内に設立された期磨智小学校が前身。昭和22年(1947)4月、成美小学校に改称された	当館（栗山輝雄氏）
66	「高岡市長江・波岡耕地整理仮配当関係」綴等関連資料	昭和16～23年(1941～48)頃	2	高岡市長江・波岡の耕地整理組合員・坂井弥八郎が残した耕地整理仮配当関係（1941～43年）及び関連資料（「土地面積の算出公式」・「級別小作料金・該当地番」）	当館（坂井理氏）
67	写真「一番街通御車山 源平町記念写真」（複写）	(年未詳) 5月1日	1	高岡市源平町にて、一番町・三番町・源平町の3町共有である一番街通御車山と関係者を写した記念写真	当館（加納亮介氏）
68	写真「高岡市源平町にて 御車山祭礼日の女の子」（複写）	(昭和期) 5月1日	1	高岡市源平町の野村家前で、高岡御車山祭の際に撮影された写真	当館（加納亮介氏）

※資料保存のため一部展示替えをすることがあります。本リストの内容は実際の展示と異なる場合があります。

計68件415点